

監督	木俣録八	コーチ	富澤・岩田・本橋・川端・田中
主将	河合亮一	副務	金子哲也
副将	頼政秀幸	部報担当	近藤/藤原
主務	河合亮一		

弓道

第451号
2015. 10. 13
NTT東日本東京弓道部

NTT・G弓道連盟 第50回全国大会開催

東京支部は3年ぶり14回目の優勝

・さる10月3・4日NTTグループ弓道連盟主催の、第50回全国弓道大会が、明治神宮武道場至誠館第2弓道場において50回記念大会と銘打って開催された。
・大会には支部対抗戦に今回からJIP支部が新たに加わり13支部、また記念大会として本部役員チームが加わり、個人戦3部制に久々120名と多勢の選手が参加した。我が東京支部は16名がまた東京弓道部員がドコモ支部から4名、データ支部から8名が及び、中塚師範もNTT・G顧問としてご多忙の中参加された。

・大会初日明治神宮中央道場にて、総会・監督者会議終了後、50回特別記念として、小笠原流「木馬の型の特別演武を皮切りに、ご来賓として全弓連柴田新会長の巻き藁射礼(介添え富澤・本橋両教士)の後、代表祝射(岩田・富澤・野中3教士の一つの)等祈念式典を挙行。後に会場青山会館に移して祝賀会を開催。過去の栄光や歩みなどを語り合い、最後は恒例の各支部の大会決意表明などを行い決起した。

2日目、競技は午前中に支部対抗トーナメント戦5名×4射=20射の的中制で行われ、午後からは個人戦3部制、各部四ツ矢二回8射、的的中制で行われた。

支部対抗戦 (5人×4射トーナメント戦)

1位	東京支部	藤原・河合・横瀬・川端・岩田
2位	九州支部	本田・岩本・播磨・渡邊・小田
3位	データ支部	頼政・吉田・中島・窪田・金子
3位	北陸支部	正札・別司・森・清水・松岡

団体戦模様

1回戦: 東京支部は初出場のJIP支部と対戦、初顔合わせでどのような戦いになるか予想できず大事な1射目大前藤原が抜き、2番手河合までも抜くが3番手ベテラン横瀬が止めたが後続ベテラン勢も連失で思わぬ展開。しかし相手JIPも1中で心が落ち着く。2射目何とまた藤原連失で相手も連失の互角になるが、2番手河合が止めてくれたが、3番手横瀬今度は失、後続は2連中して、1手終了時点で4対1でリード。3・4射目は相手意識せず順調に的中を重ね、12対5の快勝に終わる。

木俣率いるドコモは、四国支部と9対9の同中で、2回の射詰め競射でなんとか勝利。データ支部は強豪関西と3射目まで互角に戦い4射目で4中対1中の11対8で振り切り勝利した。

2回戦: 東京はドコモと対戦。大事な出場で引張り役の藤原やつの的中し役目を果たし、2番手河合も続いたが中横瀬は惜しくも×、あと2人は連中で4対3と1中リードし2射目に入る。藤原落ち着き〇、2番手河合は×、続いて〇〇×の3中=7中に纏め、相手も3中=6中で食らいつく。3射目藤原快調に3連中で引張りこの回全〇=12中としたが、相手もしぶとく5連中=11中と1差のまま最終回での決着にもつれ込む。4射目藤原〇の4連中で拍手おもらすが、後続3連失で相手は1番4番的中して13対13の同中となり大将勝負となったが、共的的中(ドコモ大将木俣は4連中で拍手喝采)させて14対14の同中で、競射にもつれ込む。同中1本競射では東京河合が外したが4者〇で、ドコモは2・4番手が×の4対3で薄氷を踏む思いで勝利を奪取。

データ支部は関東とたたかったが終始リードを保ち8対5で勝利し、次の準決勝戦で、東京と同士打ちの戦いとなる。

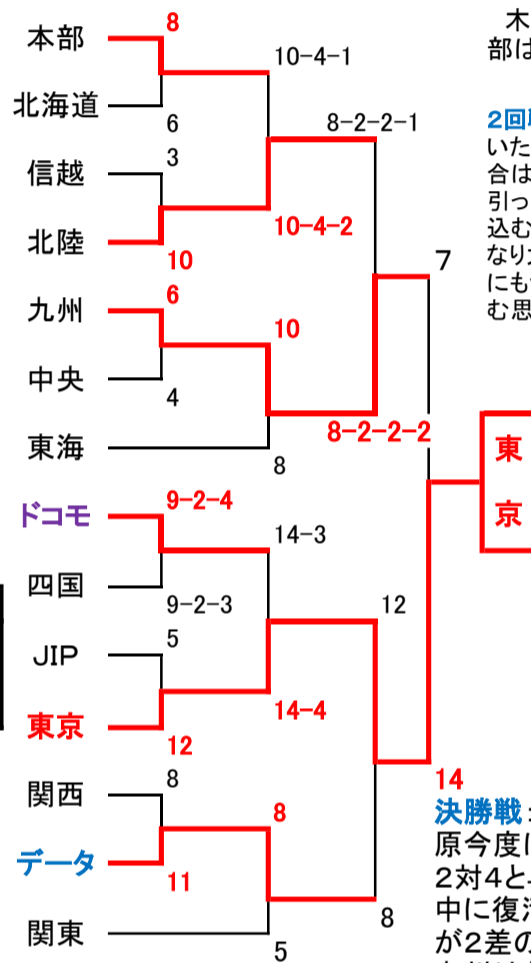
準決勝戦: 東京対データ共に部員同士因縁の戦い、2年前は2回戦12対8で東京が勝利したが、今回はデータがリベンジに燃える戦いを挑んでくるであろう。その1射目前回快調に的中していた藤原だが、力みすぎたか×、2番手しぶとい河合までが×と連失の苦しい出足。3番手横瀬止めるも後続連失の1中。一方データは連中連失のち〇の3中とし、データが早や2中のリードとする。2射目また藤原1回戦を思わせるように同じく連失するも後続4者は連中して5中に。データは2中にダウンして5対5の同中に追いつく。3射目藤原〇で止め、後続も3中の4中=9中に復活させ、データは大前の頼政のみ〇(3連中)で6中と急降下で東京3差の逆転となる。4射目また藤原×1回戦と同じ結果となるが後続が締めて3中=12中。データは気落ちしたか1(頼政4連中拍手)・2番連中のみの8中にとどまり、前回同様東京に軍配が上がった。

決勝戦: 3年ぶりの決勝戦進出。相手は優勝11回を誇る強豪九州支部。まずは1射目藤原今度はしっかりと的中させ後続を引っ張るが、なんと後続3連失、さすが大将岩田止めるが2対4と早々2差のリードを与えてしまう。2射目藤原連〇のお蔭で後続も4連〇の5中=7中に復活。相手は有利を意識したか心に隙が生まれたかで1中=5中とダウンして、東京が2差の逆転を得る。3射目大前藤原3連中後続も3連中、大将×だが4中=11中とした。九州はなんと5連失で6差となりここで勝利確定。4射目は藤原皆中で締め、2・3番〇、あと××の3中=14中で、相手7中とダブルスコアで快勝3年ぶり14回目の優勝。

個人戦(8射的的中)

1位	武田太一(データ)	7
2位	秋松泰史(東海)	6
3位	頼政秀幸(データ)	5
4位	牧野雄一(東海)	4
5位	藤部秀樹(ドコモ)	4

団体トーナメント戦



個人戦総合優勝決定戦

部	氏名	所属	射詰め
一部	武田太一	データ	×
二部	小田新一郎	九州	×
三部	岩田宗光	東京	×

経過を振り返ると、全13試合26回中羽分(10中)以上の的中は10回で38.46%(前回は5/26=19.23%)。また羽分以上による対戦試合は前回は1回(2回戦の九州10中対データ11中)に対し、今回は2試合(2回戦の本部10中対北陸10中&ドコモ14中対東京14中)と共に倍増。また同一支部の羽分以上連続試合達成は、

今回東京が4連続(過去最高)で優勝。前回は優勝したデータが3連続(1回戦シード)。いずれも優勝するには羽分以上の的中率確保が第1条件になりそうでこれに向かって精進すべし。なお全試合での平均的中率は520射227中=43.65%で、前回の36.45%を7%上回った。

団体戦東京支部戦況

東京	1回戦					2回戦					準決勝戦					決勝戦					中	射数	的中率	罰点				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
1 藤原真	×	×	○	×	1	○	○	○	○	4	×	×	○	×	1	○	○	○	○	4	11	17	0.6471	4				
2 河合亮一	×	○	○	○	3	○	×	○	×	2	×	×	○	○	3	×	○	○	○	3	11	17	0.6471	3				
3 横瀬正夫	○	×	○	○	3	×	○	○	×	2	○	○	×	×	2	×	○	○	○	3	11	17	0.6471	4				
4 川端文夫	×	○	○	○	3	○	○	○	×	3	×	○	○	○	3	×	○	○	×	2	12	17	0.7059	2				
5 岩田宗光	×	○	○	×	2	○	×	○	○	3	×	×	○	○	3	○	○	×	×	2	11	17	0.6471	6				
	1	3/4	5/9	3	12	勝利	4	3/7	5/12	2	14	勝利	1	4/5	4/9	3	12	勝利	2	5/7	4/11	3	14	勝利	56	85	0.6588	18

東京部員
他支部
団体戦
の成績

対戦相手	1回戦					2回戦					準決勝戦					決勝戦					中	射数	的中率						
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5									
JIP支部	×	×	×	×	0	○	×	○	○	3	○	○	○	○	4	○	○	○	○	4	○	×	×	○	2				
ドコモ支部	×	×	○	○	2	×	○	○	×	2	×	○	×	○	2	○	×	×	○	2	○	×	×	×	1				
データ支部	○	×	○	×	2	○	×	○	×	2	×	×	×	×	0	×	×	×	×	0	○	×	×	×	1				
九州支部	×	×	×	×	0	×	○	○	○	3	×	○	×	×	1	×	○	×	×	1	×	○	×	×	1				
東京	×	×	○	×	1	○	○	○	○	4	○	○	×	×	1	○	×	×	×	1	○	×	×	○	2				
対戦相手	1	0/1	3/4	1	5	3	3/6	5/11	3	14	3	2/5	1/6	2	8	4	1/5	0/5	2	7									

個人戦の成績(各部8射的的中)
1部(3段以下)28名
:優勝:武田太一7中
:3位:頼政5中
成松2中・井口2中
泉田3中・窪田3中・岡本3中

東京部員	1回戦					2回戦					準決勝戦					決勝戦					中	射数	的中率				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
ドコモ 木俣録八	×	○	○	○	○	○	○	○	○	4	負	1	回戦対四国勝利・2回戦対東京敗戦	0						10	11	0.9091					
データ 頼政	○	○	○	○	4	×	○	○	○	3		○	○	○	○	4						2		11	12	0.9167	
データ 吉田	×	×	×	○	1	×	×	○	×	1		○	×	×	○	2						6	21	4	12	0.3333	
データ 中島	×	○	○	○	3	○	×	×	×	1	8	×	×	×	×	0						8		4	12	0.3333	
データ 窪田	×	○	×	○	2	○	○	○	×	3		×	○	×	×	1						5		6	12	0.5000	
データ 金子	×	○	×	×	1	×	×	×	×	0		○	×	×	×	1						11		2	12	0.1667	
的中数	1	4/5	2/7	4	11	2	2/4	3/7	1	8	勝利	3	2/5	1/6	2	8	負						32		27	60	0.4500
対戦相手	2	1/3	4/7	1/8	関西	0	1/1	2/3	2/5	関東		1	4/5	4/9	3	12	東京										

2部(4・5段)34名
:5位:武田健太郎6中
河合5中・大井3中:保科2中
高橋2中
吉田2中:中島3中
梅本0中

過去の優勝支部

支部	回数	優勝大会
東京	14	14/20/21/28/29/32/36/38/40/43/45/46/47/50
関西(近畿)	12	13/15/16/22/23/24/25/30/31/33/37/48/
九州	10	1/2/3/5/6/7/8/10/19/27/
関東	5	9/17/18/34/39/
データ	3	41/42/49
東海	2	4/26/
中央(本社)	1	12/

東北 1|35/
ドコモ 1|44/
中央学園(H7廃止) 1|11/
1-9回までは地区別通信大会。
10回(S50)から通信局別支部制に組織改編支部対抗戦3人組
20回(S60)民営化NTT誕生。支部対抗戦5人組